

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	指針を意識しながら支援しているが、理念に対しての個人目標の設定や、目標に対しての振り返りがない	理念に基づいて各自が目標を設定し、職員一人ひとりの実践に結びつける	・新年度にむけて、各自が理念に基づいた目標を設定し、目標に対しての達成度を自己評価する	6ヶ月
2	2	グループホームとしての役割や活動等について、地域住民に理解を深める取り組みを行っていない	グループホームとしての役割や活動を地域に向けて発信し、地域の方々の理解を得る	・事業所の広報紙を作成し、グループホームとしての役割や活動等を知っていただく ・他、地域住民の理解を深める取り組みについて検討する	6ヶ月
3	33	重度化、終末期の対応について話し合い、意義や支援内容を共有する機会を設けていない	重度化、終末期の対応について話し合い、研修などに参加し、意義や支援内容を共有する機会を設けていく	・終末期についての研修があれば、研修に参加し事業所での内部研修を行ったり、外部講師を招き「終末期」、「看取りの心構え」等の研修を受け、理解や意識を深める ・看取りを行う上での介護技術を身につけるための研修に参加したり、事業所での内部研修を行い、意識付けを図る	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。